


NO.145 肺炎の治療を受ける患者・家族の方へ

ID: @PATIENTID

氏名: @PATIENTNAME

		入院日	2日目～3日目	退院前日(4日目)	退院予定日(5日目)
		月 日 ()	月 日()～ 月 日()	月 日 ()	月 日 ()
検査		身長・体重を測定します。 処置室にて採血・採尿をします。 体温・呼吸・脈拍・血圧測定を行います。 お熱が高い場合は、氷枕で冷やします。看護師が適宜交換します。 酸素飽和度(SPO2)をモニターするための機械をつけます。	朝6時頃、10時頃、14時頃、19時頃に検温します。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">採血前に、ミルクや食事を摂取すると、検査項目によって値が正確で無くなったり、採血時に嘔吐してしまう可能性があるため、朝の7時半以降は飲んだり食べたりしないようにお願いします。</div>	採血があります。朝8時頃処置室で行います。 医師が病室に伺います。 1階放射線科で胸部レントゲンを撮影します。 (医師の判断で撮影を退院後に延期する場合があります。)	
治療・処置	点滴	水分補給と抗生剤投与のため点滴が始まります。 抗菌薬を投与します。(入院当日は1～2回します)	抗菌薬は2日目から1日3回、6時・14時・22時に投与します。 食事・水分が充分とることができれば、水分補充は終了し、点滴は手元でロックします。	抗菌薬は1～2回投与します。 それ以降は採血の結果次第で内服に変わります。	
	理学療法	吸入で気管を広げ、タッピングで痰を出しやすくします。 小さなお子さんは、チューブで痰を引きます。 必要時、酸素をマスク・チューブで投与します。 (詳細別紙参照)	吸入による肺理学療法を継続します。		
	内服	咳、鼻水、痰を軽減させる為のお薬を飲みます。 お薬は看護師がその都度お持ちします。 スポイトや薬杯を使用し内服してください。		点滴からの抗菌薬が終了したら、内服の抗菌薬に切り替わります。	
基本的活動	栄養	食事の制限はありません。年齢に合わせた食事ができます。 ミルクの場合、こちらで管理していますので哺乳時お声をかけてください。			
	活動	ベッド上での安静となります。 入院中は(検査時など以外)感染予防のため病棟から出ることは出来ません。	プレイルームで遊べるかどうかは、熱や咳の状態をみて医師が判断します。		
	清潔	病棟から点滴衣をお貸し、その服に着替えます。	発熱が続いている間は温かいタオルで身体を拭きます。 熱が下がったら、シャワーに入れます。洋服・シャンプー・石けん・タオルをご用意ください。		
ご家族への説明・指導	医師が症状や検査・治療内容について説明します。 看護師が入院生活について説明を行い病棟案内します。 入院時にお渡しする「入院時のしおり」「小児科ご入院の患者様へ」をご参照ください		看護師が検査の説明をします。	医師が検査の結果や症状、退院、次回外来について説明します。	看護師が退院後の内服薬をお渡しします。 医師の診察後、退院の手続きの説明を看護師がいたしますので、スタッフステーションにお越し下さい。

状態に応じて予定は変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、医師・看護師にお尋ねください。

ベッド柵は転落予防のため必ず上段まで上げてください。※家族が付き添っている際に、ベッド柵を下げたまま離れて転落する事故が多いです。後を向くだけでも、必ずベッド柵を上げるようにお願いします。

付き添いベッドを使用しているご家族の方は、日中は避難経路確保のためたたんでいただくようお願いします。

